

# Midnight Express

コロムビア映画提供 / カサブランカ・フィルムワークス製作 / アラン・パーカー作品  
監督 アラン・パーカー ■ 原作 ビリー・ヘイズ、ウィリアム・ホッファー 共著 (ビリー・ヘイズの)

製作総指揮 ピーター・グーバー / 脚本 オレバー・ストーン / 製作 アラン・マーシャル / デイビッド・ブットナム  
体験実録に基づくノンフィクション・ベストセラー ■ サントラ盤 / カサブランカ・レコード (ビクター発売)

© 1978 Columbia Pictures Industries, Inc.



熱い、いのちの感動を  
今、あなたに伝えたい...

1970年—  
世界の一角で実際におこった  
アメリカ青年の  
想像もつかない体験！  
ささいな事件がもとで  
捕えられた彼を待ちうけていたのは  
人間性を無視した虐待の日々…  
そして、息づまる脱出！  
ニューヨーク、カンヌ、ロンドンで  
記録破りの大ヒットを続ける  
今、最も新しい衝撃の話題作！

「ミッドナイト・エクスプレス」  
今までにこれを超えるほどの  
エキサイティングな映画が  
あったらどうか！

# ミッドナイト・ エクスプレス

●地獄の刑務所から  
驚異の脱走!

「お父さん、お母さん。こんなショッキングな手紙を書くのは初めてです。これを読んだら、お二人は驚き、混乱し、悲しみ、そして絶望なさることでしょう。私は、昨日ハシシ（麻薬）の不法所持のかどで逮捕されたのです」

この手紙は、ビリー・ヘイズという実在のアメリカ青年によって書かれたものだ。以後、1970年から75年まで4年以上にわたって、ビリーは刑務所で恐るべき体験をすることになる。残忍で墮落した刑務所での拷問と屈辱の日々。祖国からも見放された彼は、ついにエキサイティングな脱出をやったのけるのだ。

●これは明日  
君に起るかもしれない事実!

「俺は愛と自由が欲しい!」——魂の底からこう絶叫するビリー・ヘイズの本当の気持ちを、私たちは現実に理解することができるだろうか。今から、ほんの3年前に起った、これは事実の出来事なのだ。訪れてきた恋人を裸にしてオナニーに熱中する場面。密告屋の口に自分の口をねじこんで相手の舌をかみ切ってしまう場面。いずれもショッキングな描写だ。だが、これは、地獄のような監禁状態の中で、愛と自由、正義を求めた青年の熱い心のほとばしりを、きわめて美しく官能的に描く手段だった。そして、人間のあたたかさ、冷たさ、愛、友情などがあざやかに描かれ、見る人に言葉では言いあらわせない素晴らしい感動をよび起こすに違いない。「これは、明日、君に起るかもしれない事実だ」と、製作総指揮のピーター・グーバーは語っている。

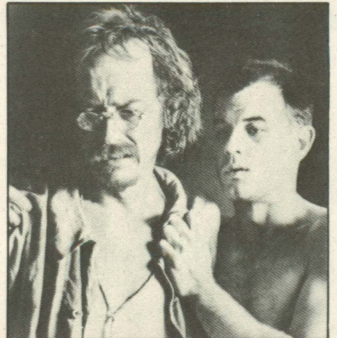
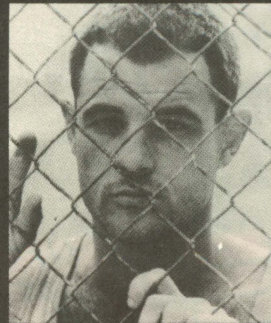
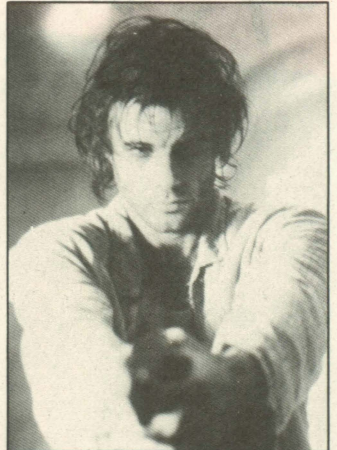
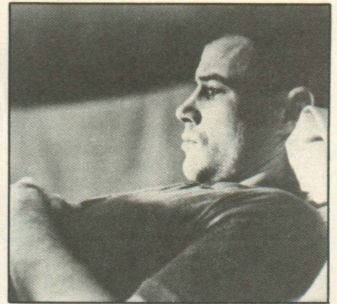
●全世界の若者が  
感動と共感の拍手を!

主役のビリー・ヘイズを演じるのは、TV「ルーツ」で注目されたブラッド・デイビス。今は亡き不滅の青春スター、ジェームズ・ディーンの再来と騒がれている期待の新星だ。ドラマに現実感を持たせるため、その他の出演者も、ほとんど無名に近いフレッシュな人々だ。製作総指揮のピーター・グーバーは、「ザ・ディーブ」といった超ヒット作を放った若手プロデューサー。監督のアラン・パーカーは、ジョディ・フォスター主演の異色ミュージカル「ダウンタウン物語」でデビューした才人だ。いま全世界の若者に共通した“自由への脱出”をテーマに、本年度カンヌ映画祭でも大きな波紋を巻き起し、いち早く公開したロンドンでは記録破りの大ヒットとなった78年最大の話作である。

Midnight Express

●カラー作品  
●コロムビア映画  
●Columbia Pictures

ミッドナイト・エクスプレス



10月21日(土)よりロードショー **ヒビヤ 有楽座** (591) 5351

●特別鑑賞券 ¥1000 (一般 ¥1300・大学 ¥1100のところ) 劇場窓口にて発売中!